

課題名	高アンモニア血症に対するカルニチン補充療法の検討
承認番号	2020-41 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 消化器内科 氏名 原 英展
研究期間	(西暦) 2021 年 4 月 ~ (西暦) 2021 年 10 月
研究の意義・目的	高アンモニア血症に対して使用する薬剤は現在多く市販されています。カルニチン補充療法による高アンモニア血症の改善率や肝機能への変化を見ることで、どのタイミングで補充することがよいか検討を行います。
研究の方法 (対象期間含む)	<p>観察期間内(2012年4月から2020年3月まで)に背景に慢性肝炎もしくは肝硬変があり高アンモニア血症に対してエルカルチン投与した患者さん。入院および外来で当院消化器内科に通院された患者さん。</p> <p>採血データ(ヘモグロビン(Hb), クレアチニン(Cre), 尿素窒素(BUN), 白血球数(WBC), 血小板数(Plt), 血小板数(PT), 総ビリルビン(T-Bil), アルブミン(Alb), アンモニア(NH<sub>3</sub>), 腫瘍マーカー)、内服期間、内服量、年齢、性別、画像検査を用いて検討を行います。採血は内服前、1か月後、3か月後、6か月後にフォローを行います。</p> <p>具体的には肝機能の推移および血液中のアンモニアの変化値などを検討します。どのようなタイミングでの内服が効果が出やすいか、今後の診療に役立つように検討を行います。</p>
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	対象症例のカルテから以下のデータを抽出し、検定を行います。データは本研究の目的のみに使用し、個人が特定できない形とします。具体的には、対応表を用いてデータ管理を行い、使用するデータのみでは個人のIDなどが分からない状態とします。
利用又は提供する 試料・情報の項目	年齢、性別、内服量、内服期間、画像検査、採血データを用いて比較検討を行います。
試料・情報を 利用する者の範囲	消化器内科 原 英展のみ
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	消化器内科 原 英展
問い合わせ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1</p> <p>横浜市立みなと赤十字病院 所属 消化器内科 氏名 原 英展</p> <p>TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101</p>